

CIGS エネルギー環境セミナー 「燃料電池のイノベーションに見る環境技術革新の方向性」

日 時	2019年4月19日（金）15:30-17:00（受付開始15:00）
会 場	キャノングローバル戦略研究所 会議室3 （東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸ビル11階）
講 師	木通 秀樹（株式会社日本総合研究所 創発戦略センター部長）
モデレーター	杉山 大志（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）
言 語	日本語

講演概要

現在、AI/IoTを中心に様々な分野でイノベーションが進んでいる。革新の底流には、基盤技術の自律的な発展の仕組みがある。本講演では、燃料電池のイノベーションのプロセスを紐解き、その底流の仕組みを明示する。基盤となる技術が自律的に発展する時期には、革新的な新技術が次々に生まれ、いわゆる産業革命の時代と言われる時期を迎える。今後、AI/IoTのさらなる技術革新によって、環境イノベーションがどのような方向に向かうかについて論じる。

プログラム

15:30-15:35	趣旨説明 杉山 大志（キャノングローバル戦略研究所 研究主幹）
15:35-16:15	講 演 「燃料電池のイノベーションに見る環境技術革新の方向性」 木通 秀樹（株式会社日本総合研究所 創発戦略センター部長）
16:15-17:00	質疑応答と討論 モデレーター：杉山 大志

講師紹介

木通秀樹 株式会社日本総合研究所 創発戦略センター部長（IoTシステム推進担当）

慶応義塾大学理工学研究科後期博士課程修了（工学博士）。1988年石川島播磨重工業（現IHI）に入社。各種のロボット、プラント、機械等の制御システムの研究開発に従事。2000年日本総合研究所に入社。新市場開拓を目指した社会システム構想、技術政策の立案等を行う。著書に「大胆予測 IoTが生み出すモノづくり市場2025」、「なぜ、トヨタは700万円『ミライ』を売ることができたか？」（共著、日刊工業新聞社）など。